【授業改善に向けての参考例「産業・交通の発達」】

ねらい

資料を見て、その資料が表す事柄を把握し、読み取ったことを文にしたり、口頭で伝えるなどの表現力を育成する。さらに、複数の資料を複合的に考察し、表現する力を養う。

学習指導要領における内容

2 (4) ウ 産業や交通の発達,教育の普及と文化の広がりなどを通して,町人文化が都市を中心に形成されたことや,各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。

指導のポイント

- 授業の中で、資料を読み取る時間を設定する。
- 読み取った内容を文章化させたり,発表させたりするなど,表現させる場面を工夫 する。
- 読み取る資料を複数用意し、そこから分かることを複合的に考察できるようにする。

授業アイデア例

主な学習活動

指導上の留意点

1 資料をみて、予想をする。

- 農業の生産力を向上させた農具 の絵を見て、何が便利になったの かを予想する。
- 2 資料(地図)から読み取ったことを表現する。
 - 農業以外にどんな産業が発達 し、各地の特産物にはどのような ものがあったのかを地図から読み 取る。
 - 読み取った内容をワークシート に記入し、発表する。
 - 身近な地域の特産物となってい る品物を発表する。
- 3 複数の資料を見て、それぞれの資料から分かることを文にする。
 - 蔵屋敷が置かれ、全国から米や 特産物が集まる大阪の様子から、 「天下の台所」と呼ばれた理由を ワークシートに記入する。

生徒に関心を持たせ、意欲を高めていく活動

○ 農具の絵から、どのような目的で、どのように使われたのか予想させることで、興味・関心を高める。

生徒の資料を読み取る力を高め、表現力を 高める活動

- ワークシートには、鉱山・特産物・交通網に分けて、記入させる。
- 生徒の実態に応じて、一斉ではなくペア やグループでの発表など学習形態を工夫す る。
- 諸産業の発達により、交通網が整備され、 物資を輸送するために海運業も発達したこ とに気付かせる。

複数の資料を読み取り、それらを活用し、 思考・判断・表現力を高める活動

○ 複数の資料をそれぞれ読み取り、さらに それらの資料を複合的に考察させ、最終的 に、その内容をまとめた一つの文を完成さ せる。

授業実践例

《板書例》

- **めあて** 江戸時代には、どのような産業!○また、 が発達したのだろう。
- ○幕府や藩→**新田**を開発し、耕地面積が! ・飛脚…手紙や荷物を運ぶ 増える。
 - ・土地の開墾や干拓
 - ・農具の改良→備中ぐわ, 千歯こき,
- ・商品作物の栽培…わた、べにばななど ○他にも,
- 厂・鉱山の開発…金山や銀山,銅山
- ・水産業…いわし漁やにしん漁
- ・各地に特産物(しょう油,塩など)が できる

- 五街道の整備
- ・各地に港町、宿場町、門前町が栄える。
- ○海運業の発達
- **∫・菱垣廻船,樽廻船→**江戸~大阪の定期
- ・西廻り航路, 東廻り航路→年貢米の輸送 送

上 まとめ 江戸時代には農業の他,鉱山の 開発や水産業も発達した。さらに 各地に特産物もでき、それらを輸 送するための海運業も発達した。

《ワークシート例》

社会科	(歴史)	ワークシー	1	「農業や諸産業の発達」
-----	------	-------	---	-------------

1	下の2つの農具に	ナーレムフ	な用途で値	由われた (カだスら
1.	1ツムノツ辰奈り	α , \subset /U	よ用処しじ	丈 4ノ4 し1こり	クルクノ

(1)



用途		



		` ^
		→2
,	П	1/1

2. 農業以外にどんな産業が発達し、各地の特産物にはどのようなものがあったか を教科書 p 113 の地図から読み取って、書きなさい。

鉱山	
特産物	
交通網	

3. なぜ、大阪は「天下の台所」と呼ばれたのだろうか。その理由を、教科書p113 とp114の2枚の絵から読み取って一文にしてみよう。
